

STAGE 4-2

鹿児島物流センター

移設 稼働中

竣工 DATA

竣工年月	2011 (平成23) 年8月	
設計者	今川建築設計事務所	
施工者	清水建設	
施設概要	敷地面積	14,985.18㎡
	延べ床面積	17,646.17㎡
	構造	RC造一部S造3階建
	プラットホーム	密閉型高床式・16バース
	防熱方式	完全防湿包括外断熱工法・吊り天井防熱
収容能力	総トン数	20,555t
	セミ超	×
	F級	16,306t
	C級	1,124t
	C&F	3,124t
	ドライ	×
	凍結	48t/日
冷却設備	施工者	長谷川鉄工
	冷凍機メーカー	長谷川鉄工
	主要冷凍機	高速多気筒冷凍機
	冷媒	アンモニア
	冷却方式	分散式・直接膨張式・アルミヘアピンコイル・ユニットクーラー
荷捌室低温化	1階+5℃・2階～3階+10℃	
その他設備	ロープ式エレベーター1基(ルームレス)、垂直搬送機4基、ドッグレベラー1基、移動ラック5,980PL、太陽光発電設備370kW	



鹿児島物流センター [2011 (平成23) 年8月]



冷蔵庫棟全面に太陽光発電システムパネルを設置



テナント用加工処理室



地方都市でも物流貨物が増加し、それに対応する設備が必要となってきたんだ。だから荷捌室の低温化もヨコレイでは既に標準化していたけど、鹿児島地域では初めて導入したよ。

でもここには陽圧設備は導入されていない代わりに、各バースの床面や各出入口の床面にフロアヒーターを埋設したり、また階段室に除湿器を設置したりと、結露が出ないように細心の注意を払っているね。

ここも北港物流センター同様、外観に斬新なデザインを採用して冷蔵倉庫のイメージを一新したね。

事務所棟の階段は外が見えるようにガラス窓を多用していて、晴れた日には目の前の桜島が綺麗に見えて最高だよ。



太陽光発電設備として発電能力360kWの京セラ製のソーラーパネルを北港物流センターと同じく冷蔵庫棟の屋上の折板屋根に設置し、さらに天井を二重天井にしています。



移動ラック

斬新すぎる外壁のデザイン!?

台風でアルミサッシが飛んで来たのかと…



1981 (昭和56) 年に建てられた鹿児島工場の代替として、旧工場の先に新しく鹿児島物流センターできましたが。



鹿児島物流センターの冷凍機はアンモニア直膨式天井ヘアピンコイルとユニットクーラーの併用なんだけど、2万トンを超える新設冷蔵倉庫では最後の導入となったね。ここは長谷川鉄工が施工していて、高速多気筒冷凍

機のモーターにはインバーターが導入されているんだ。これは負荷変動に応じて回転数を制御できるので、アンモニア設備なんだけどバキューム運転になりづらいメリットがあるんだ。

ここはテナント用の加工室も併設されていて、凍結庫が3部屋で48トもあり、解凍室も装備しているんだ。



移動ラックが3階に5,980パレットも導入されていますが。